奉仕プロジェクト委員会　活動報告
奉仕プロジェクト委員会委員長　松元直美

鹿 児島東南ロータリークラブの「青少年に対しての献血啓発活動」が９月１３・１４日の両日、ＪＲ鹿児島中央駅東口のアミュ広場で行われ、私たちＥクラブから 東岳也会長はじめ６名が参加しました。当委員会では「他クラブの奉仕活動に学ぶ」を、今年度の目標にしており、今回が第一弾となります。
参加された桐明広報委員長、東会長に報告をお願しました。

◇報告１日目：広報委員会委員長　桐明桂一郎
初 日１３日の参加者は今柳田幸代幹事以下、西幸司、花里隆司、宮本健児各会員、それに桐明の５名でした。東南クラブは、この日を通常例会の振替日とされたた め、井料長敏会長はじめ１５名の会員が参加されました。当方の参加者も活動開始の午後１時までには全員、広場の一角に設けられたブースに集合、井料会長ら から歓迎を受けました。また、ロータリアンのほか、ローターアクトや鹿児島県学生献血推進協議会のメンバーも多数参加されており、心強い思いをいたしまし た。
活動開始となり、我々応援組も東南ロータリーのタスキを身につけ、献血を呼び掛けるビラ配りとなりましたが、丁度、同じ時間帯 に広場のステージでエフエム鹿児島主催の音楽イベントが開かれており、広場はまさに目指す青少年でほぼ埋まった状態でした。しかも、演奏の合間に啓発活動 の若い女性スタッフがステージに上がり、献血への協力を呼び掛けるという演出効果もあって、若者たちも気持ちよくチラシを受け取っているようでした。東南 クラブをはじめ各参加グループとも良い交流ができました。
鹿児島県赤十字血液センターの方から、１０代、２０代の献血者が、この１０年で半減したという話を聞きました。県全体の献血量も不足気味だそうです。献血者をどう増やしていくか。わがクラブも息の長い啓発活動に取り組んでいかねばならない、との思いを強くしました。

◇報告２日目：会長　東岳也
二 日目の１４日は例会扱いではなかったため、東南ＲＣ２名、ＲＡＣ５名ほど、鹿児島大学ボランティア２名、献血センター職員３名、Ｅクラブから自分というメ ンバーで行いました。若年層に献血の大切さを訴えるためFacebookページにいいねをつけた方がくじ引きができるというものであり、また二日目も広場 ではイベントが行われていたため、お客様も多く、高校生などの若年層を中心に多くの方へ啓発活動ができました。
今後、当クラブに献 血センター所長である吉田会員が入会していることもあり、そのご挨拶と今後のクラブ奉仕として何かしら活動する際のためご挨拶を職員の方にさせていただき ました。また、東南ＲＣの方からは次年度、勉強のためにもロータリー財団への申請から合同でやってみないかとのお声掛けをいただきましたので、今後、クラ ブ奉仕委員会、財団委員会等において協議をし活動を進めていけたらと感じました。